記入例

届書コード	1731

様式第105号

受付登録コード			
1	7	3	1

年金コード		
14		

年金[illegible]金保険遺族給付）
[illegible]族厚生年金〕

（注）１．請[illegible]書にご記入ください。
２．その他の方については、別紙の年金請求書（様式第106号）に記入し、この年金請求書に添えてください。
[illegible]ください。）□
[illegible]り

実施機関等

受付年月日

死亡した方の基礎年金番号を記入してください。

○フリガナ[illegible]カタカナでご記入ください。

死亡した方					
① 基礎年金番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0				
② 生年月日	明・大・昭・平	× × 年	1 1 月	0 5 日	
⑲ 氏名	(フリガナ) キョウサイ (氏) 共済	タロウ (名) 太郎	性別 男1 女2		

死亡した方に共済組合等の加入期間がある場合は、請求者の個人番号（マイナンバー）及び基礎年金番号の両方をご記入ください。個人番号（マイナンバー）については10ページをご確認ください。

⑤記録不要制度	⑥作成原因

請求者ご自身の個人番号（マイナンバー）および基礎年金番号を必ず記入してください。

請求者					
③ 個人番号（マイナンバー）	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8				
③ 基礎年金番号	5 4 3 2 1 0 9 8 7 6				
④ 生年月日	明・大・昭・平・令	× × 年	0 4 月	0 2 日	
⑳ 氏名	(フリガナ) キョウサイ (氏) 共済	ハナコ (名) 花子	㉑続柄 妻	性別 男1 女2	
㉒住所の郵便番号	1 0 2 0 0 8 4	㉓住所	㉓住所 (フリガナ) トウキョウト チヨダク 東京都 千代田 市・区・町・村	ニバンチョウ2バンチ 二番町２番地	

該当する数字を○で囲んでください。
公金受取口座として登録済の口座を指定する場合は、□に✓を記入してください。
年金の受取口座を必ず記入してください。

電話番号１	０３－５２１０－××××　　（フリガナ）キヨウサイ　ハナコ
電話番号２	０９０－５２１０－××××

該当する数字を○で囲んでください。

㉔ 年金受取機関 ※	※１または２に○をつけ、希望する年金の受取口座を下欄に必ずご記入ください。 ※指定する口座が公金受取口座として登録済の場合は、左欄に☑してください。	(フリガナ) 口座名義人氏名	キヨウサイ (氏) 共済	ハナコ (名) 花子
1. 金融機関（ゆうちょ銀行を除く） 2. ゆうちょ銀行（郵便局） 公金受取口座として登録済の口座を指定□				

年金送金先							
金融機関	㉕金融機関コード ◆	㉖支店コード ◆	(フリガナ) コウジマチ	銀行・金庫・信組・農協・信連・信漁連・漁協	(フリガナ) バンチヨウ	本店・支店・出張所・本所・支所	㉗預金種別 1.普通 2.当座	㉘口座番号（左詰めで記入） 1 2 3 4 5 6 7
	記入不要		麹町		番町			
ゆうちょ	㉘ 貯金通帳の口座番号 記号（左詰めで記入）	番号（右詰めで記入）	金融機関またはゆうちょ銀行の証明欄※ 貯蓄預金口座または貯蓄貯金口座への振込みはできません。 請求者の氏名フリガナと口座名義人氏名フリガナが同じであることをご確認ください。					

公金受取口座として登録済の口座を指定する場合は、金融機関等の証明は不要です（通帳またはキャッシュカードのコピーの添付も不要です）。
公金受取口座として登録済の口座を指定しない場合は、金融機関等の証明または通帳もしくはキャッシュカードのコピーの添付が必要です。

加算額	氏名	(氏) 共済	(名) 一郎	生年月日	昭・平・令	× × 年	0 5 月	0 1 日	障害の状態にある・ない
	個人番号								

死亡した方によって生計を維持されていた子がいる場合はご記入ください。
子の要件は、次のいずれかとなります。
①１８歳になった後の最初の３月３１日までにある未婚の子
②国民年金法施行令別表に定める障害等級１級・２級の障害の状態にある場合は２０歳未満の未婚の子

㋐　あなたは、現在、公的年金制度等（表１参照）から年金を受けていますか。○で囲んでください。

			制度名（共済組合名等）	年金の種類
① 受けている	２．受けていない	３．請求中		

受けていると答えた方は下欄に必要事項を記入してください。（年月日は支給を受けることになった年月日を記入してください）。

公的年金制度名（表１より記号を選択）	年金の種類	年　月　日	年金証書の年金コードまたは記号番号等
イ	・老齢または退職 ・障害 ・遺族	XX　4　1	1150
	・老齢または退職 ・障害		

	㉜年金コードまたは共済組合コード・年金種別					
1						
2						

すでに年金を受けている場合、また、他の年金を請求手続き中の場合は必ずご記入ください。
原則として２つ以上の年金を同時に受け取ることはできません。
年金受給選択申出書を提出し、いずれか一方の年金を選択していただくことになります。

㋑　履　歴（死亡した方の公的年金制度加入経過）
※できるだけくわしく、正確に記入してください。

	(1)事業所（船舶所有者）の名称および船員であったときはその船舶名	(2)事業所（船舶所有者）の所在地または国民年金加入時の住所	(3)勤務期間または国民年金の加入期間	(4)加入していた年金制度の種類	(5)備考
最初		○○市○○X－X－X	昭XX．4．1 から 昭XX．3．31 まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
2	□□化学（株）東京支店	△△区○○X－X－X	昭XX．4．1 から 昭XX．3．31 まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
3	○○市役所	○○市△△X－X－X	昭XX．4．1 から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
4			．　．　から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
5			．　．　から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
6					
7			．　．　まで	2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
8			．　．　から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
9			．　．　から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
10					
11			．　．　まで	2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
12			．　．　から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	
13			．　．　から ．　．　まで	1．国民年金 2．厚生年金保険 3．厚生年金（船員）保険 4．共済組合等	

加入していた年金制度が国民年金のときは、記入不要です。

勤務期間または国民年金の加入期間が詳しくわからない場合でも、年月まで
または何年の夏や冬までといったようにご記入ください。

亡くなられた方の公的年金制度の加入履歴を記入してください。

㋒ 必ず記入してください。

(1)死亡した方の生年月日、住所	昭和XX 年 11 月 5 日	住所	東京都千代田区二番町２番地

(2)死 亡 年 月 日	(3)死亡の原因である傷病または負傷の名称	(4)傷病または負傷の発生した日
令和XX 年 2 月 10 日	急性心不全	令和XX 年 2 月 5 日

(5)傷病または負傷の初診日	(6)死亡の原因である傷病または負傷の発生原因	(7)死亡の原因は第三者の行為によりますか。
令和XX 年 2 月 5 日		1．はい ・ (2.) いいえ

死亡の原因が第三者の行為による場合は、別途書類が必要となりますので、共済組合にご連絡ください。

(8)死亡の原因が第三者の行為により発生したものであるときは、その者の氏名および住所	
(9)請求する方は、死亡した方の相続人になれますか。	(1) はい ・ 2．いいえ

(10)死亡した方は次の年金制度の被保険者、組合員または加入者となったことがありますか。あるときは番号を○で囲んでください。

1．国民年金法　(2.) 厚生年金保険法　3．船員保険法（昭和61年4月以後を除く）
4．廃止前の農林漁業団体職員共済組合法　5．国家公務員共済組合法　(6.) 地方公務員等共済組合法
7．私立学校教職員組合法　8．旧市町村職員共済組合法　9．地方公務員の退職年金に関する条例　10．恩給法

(11)死亡した方は、(10)欄に示す年金制度から年金を受けていましたか。	(1.) はい 2．いいえ	受けていたときは、その制度名と年金証書の基礎年金番号および年金コード等を記入してください。	制度名	年金証書の基礎年金番号および年金コード等
			厚生年金	9876-543210
			共済年金	8680-1234567890

(12)死亡の原因は業務上ですか。	(13)労災保険から給付が受けられますか。	(14)労働基準法による遺族補償が受けられますか。
1．はい ・ (2.) いいえ	1．はい ・ (2.) いいえ	1．はい ・ (2.) いいえ

(15)遺族厚生年金を請求する方は、下の欄の質問に答えてください。いずれかを○で囲んでください。

ア 死亡した方は、死亡の当時、厚生年金保険の被保険者でしたか。	(1) はい ・ 2．いいえ
イ 死亡した方が厚生年金保険（船員保険）の被保険者若しくは共済組合の組合員の資格を喪失した後に死亡したときであって、厚生年金保険（船員保険）の被保険者または共済組合の組合員であった間に発した傷病または負傷が原因で、その初診日から５年以内に死亡したものですか。	1．はい ・ (2.) いいえ
ウ 死亡した方は、死亡の当時、障害厚生年金（２級以上）または旧厚生年金保険（旧船員保険）の障害年金（２級相当以上）若しくは共済組合の障害年金（２級相当以上）受けていましたか。	1．はい ・ (2.) いいえ
エ 死亡した方は平成２９年７月までに老齢厚生年金または旧厚生年金保険（旧船員保険）の老齢年金・通算老齢年金若しくは共済組合の退職給付の年金の受給権者でしたか。	(1) はい ・ 2．いいえ
オ 死亡した方は保険料納付済期間、保険料免除期間および合算対象期間（死亡した方が大正１５年４月１日以前生まれの場合は通算対象期間）を合算した期間が２５年以上ありましたか。	(1) はい ・ 2．いいえ

①アからウの
⇒（16）に

②アからウの
⇒下の□の

アからウまでとエまたはオは年金の計算方法が異なるため、アからウのいずれかおよびエまたはオについて「はい」と答えた方は、希望する計算方法に✔を付けてください。

☑ 年金額が高い方の計算方法での決定を希望する。	
□ 指定する計算方法での決定を希望する。 ⇒右欄のアからウのいずれか、またはエ若しくはオを○で囲んでください。	ア・イ・ウ または エ・オ

(16) 死亡した方が共済組合等に加入したことがあるときは、下の欄の質問に答えてください。

ア 死亡の原因は、公務上の事由によりますか。	1．はい ・ (2.) いいえ
イ 請求者は同一事由によって、追加費用対象期間を有することによる共済組合法に基づく遺族給付を受けられますか。	1．はい ・ (2.) いいえ

生 計 維 持 申 立

㊤ 生計同一関係

右の者は、死亡者と生計を同じくしていたこと、および配偶者と子が生計を同じくしていたことを申し立てる。

令和 XX 年 2 月 25 日

請求者氏名 共済 花子

	氏 名	続 柄
請求者	共済 花子	妻
	共済 一郎	子

㊥ 収入関係

1．この年金を請求する方は次に答えてください。		※確認欄
（1）請求者（名： 花子 ）について年収は、850万円未満ですか。	はい・いいえ	（ ）印
（2）請求者（名： 一郎 ）について年収は、850万円未満ですか。	はい・いいえ	（ ）印
（3）請求者（名： ）について年収は、850万円未満ですか。	はい・いいえ	（ ）印
2．上記１で「いいえ」と答えた方のうち、その方の収入がこの年金の受給権発生時以降おおむね５年以内に850万円未満となる見込みがありますか。	はい・いいえ	

＊共済組合の確認事項

ア． 健保等被扶養者（第三号被保険者）

イ． 加算額または加給年金額対象者

ウ． 国民年金保険料免除世帯

エ． 義務教育終了前

オ． 高等学校在学中

カ． 源泉徴収票・非課税証明等

令和 XX 年 2 月 25 日 提出

ご本人と亡くなられた方が同一世帯でなかった場合や住民票上の住所が別であった場合は、別途書類が必要となりますので、共済組合にご連絡ください。

機構独自項目

死亡した方

過去に加入していた年金制度の年金手帳の記号番号で、基礎年金番号と異なる記号番号があるときは、その記号番号を記入してください。

厚生年金保険		国民年金	
船員保険			

請求者

請求者の「③基礎年金番号」欄を記入していない方は、次のことにお答えください。（記入した方は回答の必要はありません。）

過去に厚生年金保険、国民年金または船員保険に加入したことがありますか。○で囲んでください。

ある	ない

「ある」と答えた方は、加入していた制度の年金手帳の記号番号を記入してください。

厚生年金保険		国民年金	
船員保険			

㋐ 必ず記入してください。

（1）死亡した方が次の年金または恩給のいずれかを受けることができたときは、その番号を○で囲んでください。

1．地方公務員の恩給　　2．恩給法（改正前の執行官法附則第13条において、その例による場合を含む。）による普通恩給

3．日本製鉄八幡共済組合の老齢年金または養老年金　　4．旧外地関係または旧陸海軍関係共済組合の退職年金給付

（2）死亡した方が昭和61年3月までの期間において国民年金に任意加入しなかった期間または任意加入したが、保険料を納付しなかった期間が、次に該当するときはその番号を○で囲んでください。

1．死亡した方の配偶者が㋒の（１０）欄（国民年金を除く。）に示す制度の被保険者、組合員または加入者であった期間

2．死亡した方の配偶者が㋒の（１０）欄（国民年金を除く。）および（1）欄に示す制度の老齢年金または退職年金を受けることができた期間

3．死亡した方または配偶者が㋒の（１０）欄（国民年金を除く。）に示す制度の老齢年金または退職年金の受給資格資格期間を満たしていた期間

4．死亡した方または配偶者が㋒の（１０）欄（国民年金を除く。）および（1）欄に示す制度から障害年金をうけることができた期間

5．死亡した方または配偶者が戦傷病者戦没者遺族等援護法の障害年金を受けることができた期間

6．死亡した方が㋒の（10）欄（国民年を除く。）および（1）欄に示す制度から遺族に対する年金を受けることができた期間

7．死亡した方が戦傷病者戦没者遺族等援護法の遺族年金または未帰還者留守家族手当もしくは特別手当を受けることができた期間

8．死亡した方または配偶者が都道府県議会、市町村議会の議員および特別区の議会の議員ならびに国会議員であった期間

9．死亡した方が都道府県知事の承認を受けて国民年金の被保険者とされなかった期間

（3）死亡した方が国民年金に任意加入しなかった期間または任意加入したが、保険料を納付しなかった期間が、上に示す期間以外で次に該当するときはその番号を○で囲んでください。

1．死亡した方が日本国内に住所を有しなかった期間

2．死亡した方が日本国内に住所を有していた期間であって日本国籍を有さなかったため国民年金の被保険者とされなかった期間

3．死亡した方が学校教育法に規定する高等学校の生徒または大学の学生であった期間

4．死亡した方が昭和61年4月以後の期間において下に示す制度の老齢または退職を事由とする年金給付を受けることができた期間

ただし、エからサに示す制度の退職を事由とする年金給付であって年齢を理由として停止されている期間は除く。

ア　厚生年金保険法	イ　船員保険法（昭和61年4月以後を除く）	ウ　恩給法
エ　国家公務員共済組合法	オ　地方公務員等共済組合法（ケを除く）	カ　私立学校教職員共済法
キ　廃止前の農林漁業団体職員共済組合法	ク　国会議員互助年金法	ケ　地方議会議員共済法
コ　地方公務員の退職年金に関する条例	サ　改正前の執行官法附則第13条	

（4）死亡した方は国民年金に任意加入した期間について特別一時金を受けたことがありますか。	1．はい　・　(2．いいえ)
（5）昭和36年4月1日から昭和47年5月14日までの間に沖縄に住んでいたことがありますか。	1．はい　・　(2．いいえ)
（6）旧陸海軍等の旧共済組合の組合員であったことがありますか。	1．はい　・　(2．いいえ)

㋑

死亡した方が退職後、個人で保険料を納める第四種被保険者、船員保険の年金任意継続被保険者となったことがありますか。	1．はい　・　(2．いいえ)	
「はい」と答えたときは、その保険料を納めた年金事務所（社会保険事務所）の名称を記入してください。		
その保険料を納めた期間を記入してください。	昭和 平成 令和　年　月　日　から	昭和 平成 令和　年　月　日
第四種被保険者（船員年金任意継続被保険者）の整理記号番号を記入してください。	（記号）	（番号）